

**ヒューマンエラー防止
～リスクマネジメント編～**

ヒューマンエラー防止

ハインリッヒの法則 (1:29:300)

1つの重大事故の背景には、

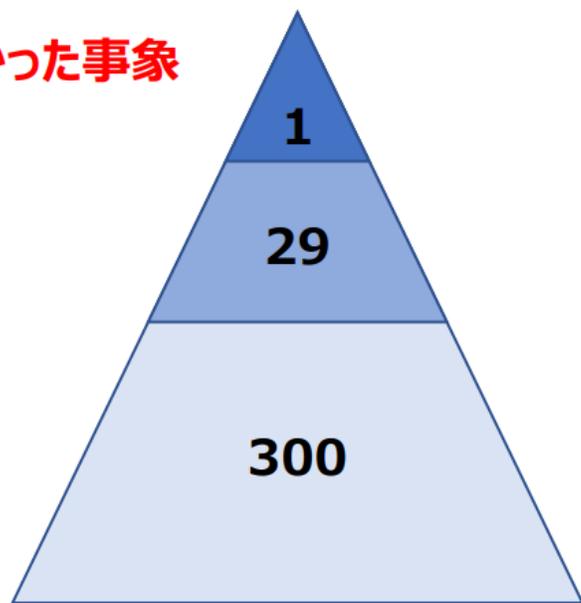
29の軽微な事故と300の**ヒヤリハット**が

隠れている (「ヒヤリ」とすること、「ハッ」とすること)

危ないところではあったが、幸いにも重大な事故には至らなかった事象

ちょっとしたことに気づくことが

重大事故を防ぐことになる！



ヒューマンエラー防止

数字ではなく考え方が重要

重大事故になってしまうか、

ヒヤリハットで終わるかは単なる偶然に過ぎず、

サイコロを振って出た目が 1 か 6 か、

と同じという考え方。

重大事故とヒヤリハットは

1 個のサイコロの異なる面でしかない！！

ヒューマンエラー防止

自分のミス进行分析する

自らのヒヤリハットから下記の4つで検証する

対人系

モノ系

管理系

タイミング

頻度の高いミスは何か？

重大な事故につながりやすいことは何か？

ヒューマンエラー防止

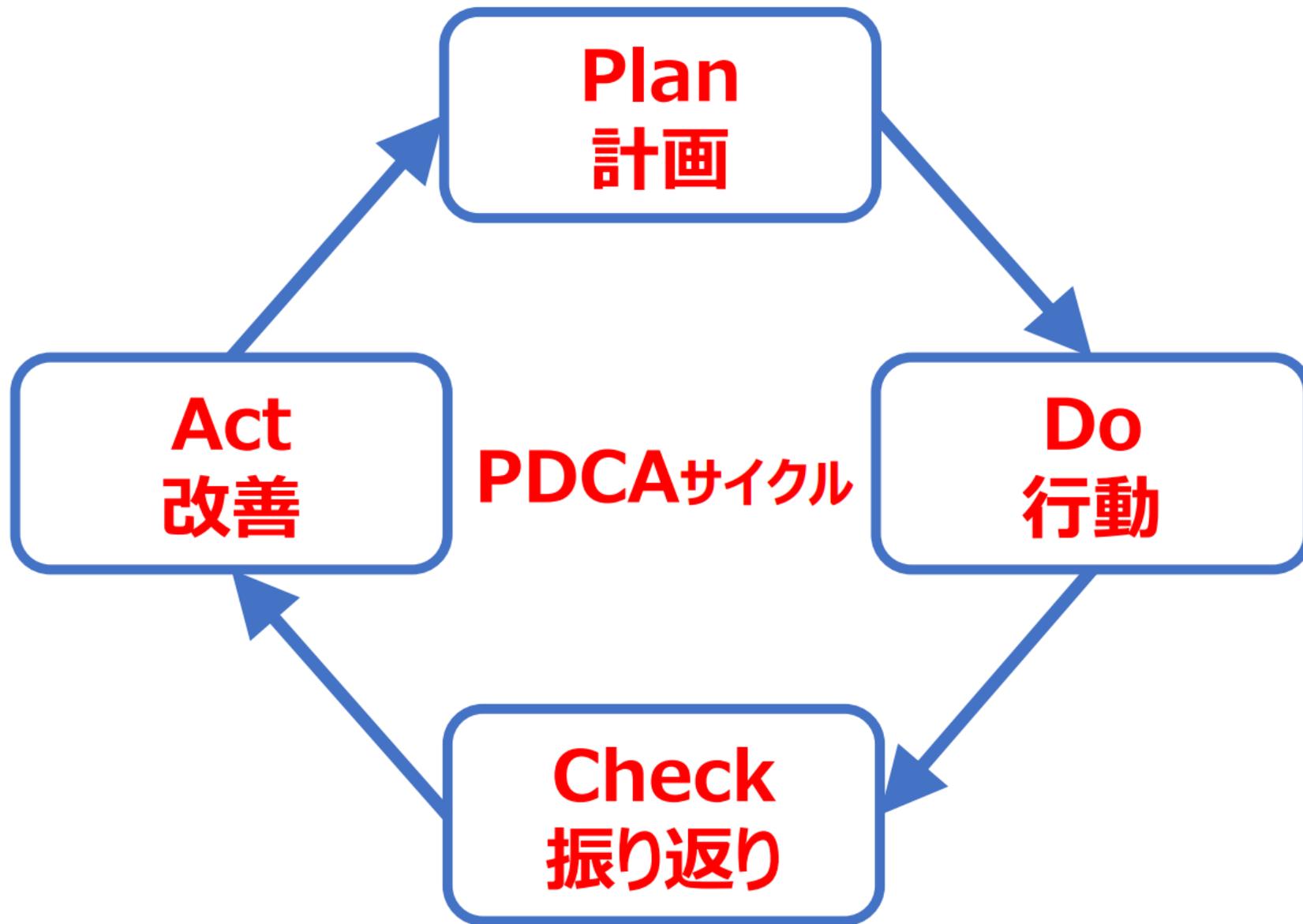
分析するだけで終わらないことが重要

ミスのない状態（理想・目標）を目指し

計画～行動～振り返り～改善を繰り返す

⇒ P D C A サイクル

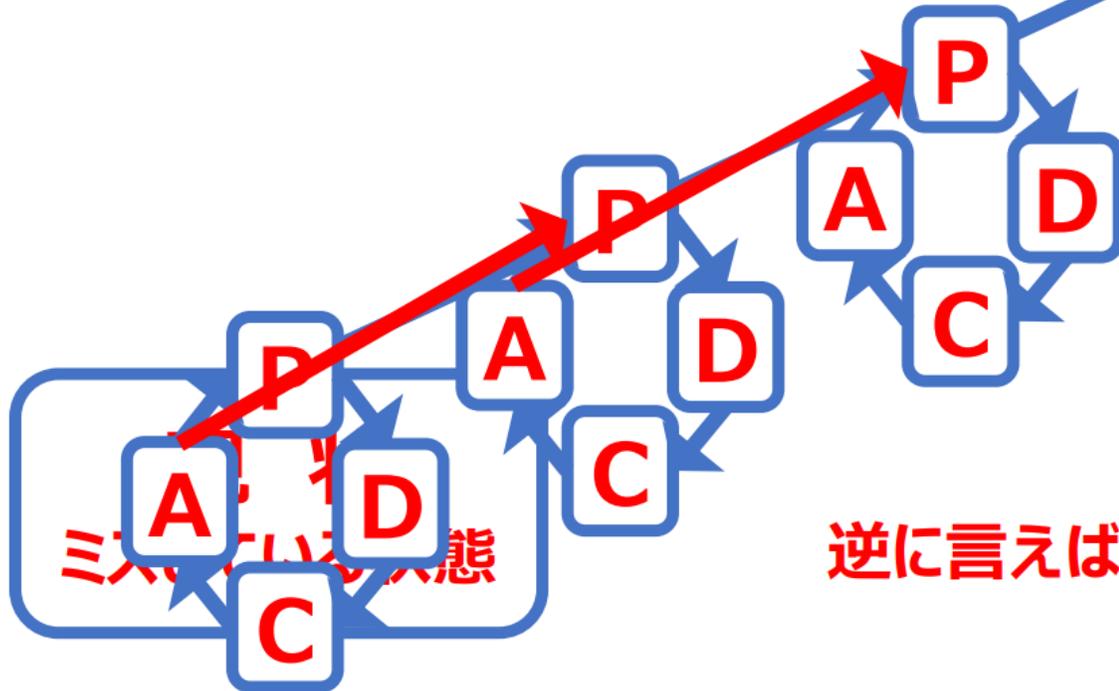
ヒューマンエラー防止



ヒューマンエラー防止

PDCAサイクルを回し続けることで
理想・目標へと近づいていく

理想・目標
ミスのない状態



逆に言えば回し続けないと意味がない

ヒューマンエラー防止

リスクマネジメント

リスクとは、**不確実な事象**のこと

起こり得る不確実な事象を予見して

その防止に取り組むプロセス

ヒューマンエラー防止

- リスクを特定する
- リスクを分析する
- リスクを評価する

上記の3つを、**リスクアセスメント**と呼ぶ

ヒューマンエラー防止

リスクを特定する

既に起きている問題をリスクとは呼ばない

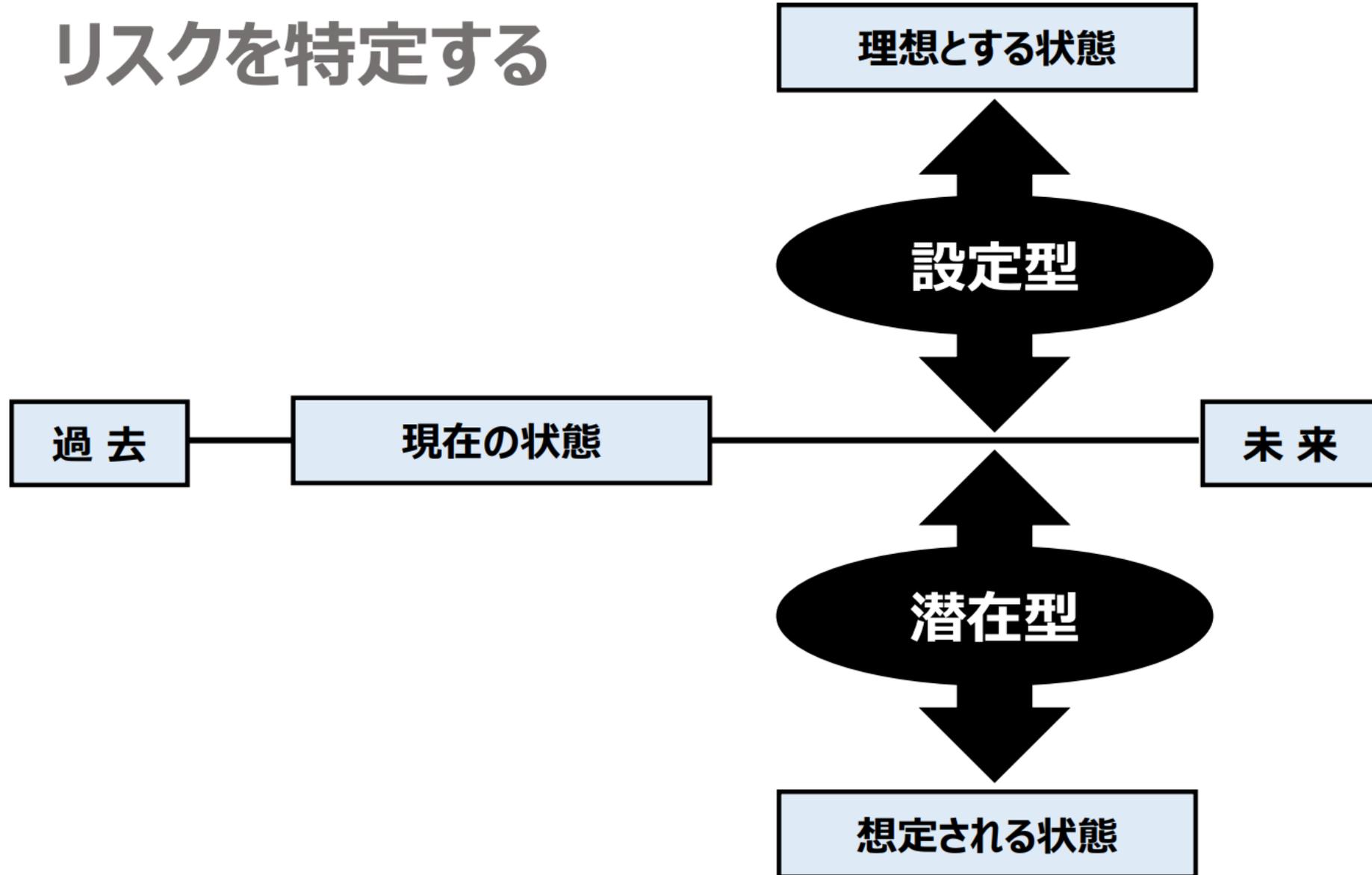
潜在型：起こる可能性のある問題

設定型：起こると仮定する問題

上記 2 点をリスクとして考える

ヒューマンエラー防止

リスクを特定する



ヒューマンエラー防止

リスクを分析する

リスクの大きさを、

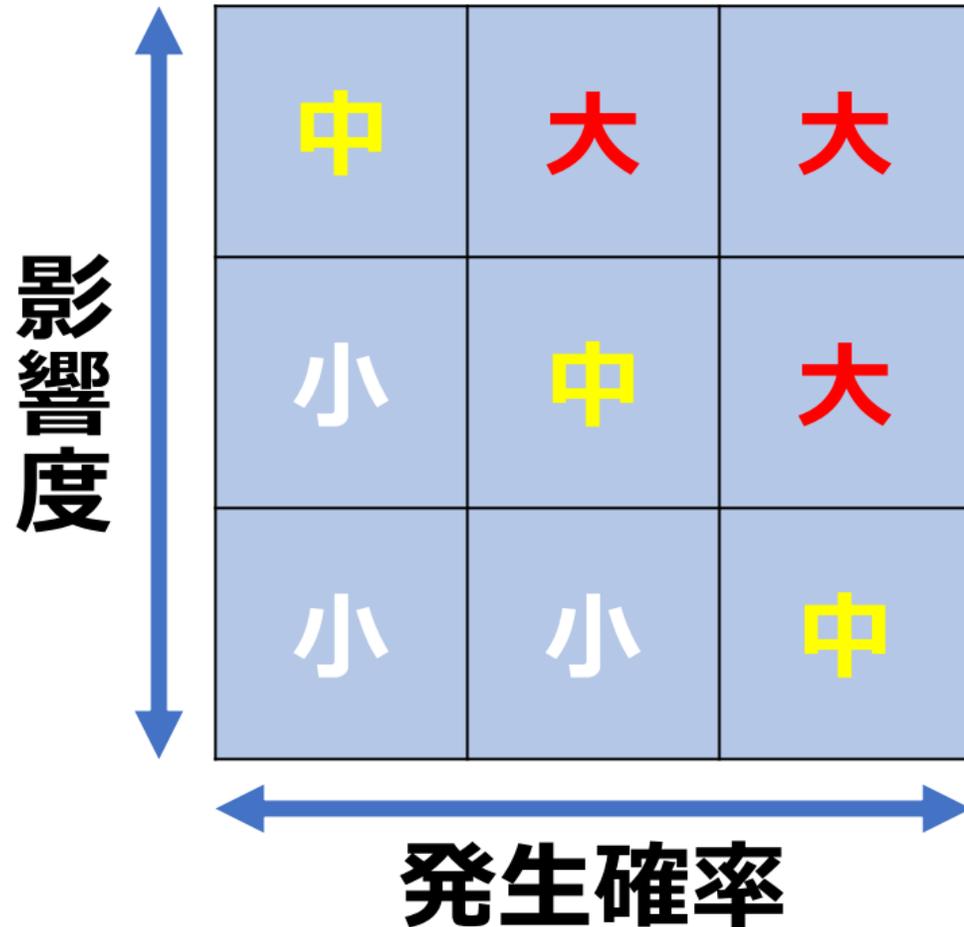
発生確率（3段階で評価）

影響度（損失の大きさを3段階で評価）

の掛け算で判断する

ヒューマンエラー防止

リスクを分析する



リスクの大きさ

発生確率 × 影響度

ヒューマンエラー防止

リスクを評価する

リスクの大きさから、

優先順位（どのリスクから防止に取り組むか）

を決定する

ヒューマンエラー防止

偉人の言葉に学ぶヒューマンエラー防止

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから

言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから

行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから

習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから

性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから